

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2022～2023年度 国際ロータリー ジェニファー E. ジョーンズ 会長テーマ

IMAGINE ROTARY イマジン ロータリー

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 小川 耕示
幹事 丹羽 克誌
会報委員長 石川 友美

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3189回例会プログラム

[当年度=28回目；当月=1週目]

2023年（令和5年）3月6日(月)

創立記念例会

〈司会：プログラム委員会〉

12:00～〈食事〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点鐘……〈会長〉

3. 開会宣言

4. 国歌斉唱

5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想

6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

7. 会長挨拶並びに会長報告

8. 退会会員挨拶……西脇 隆 会員
土屋 和哉 会員

9. お祝い

(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)

10. 幹事報告

11. 出席報告

12. 委員会報告

13. ニコニコボックス報告

14. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(3/13) ……

クラブフォーラム(公共イメージ向上委員会)

卓話 「新聞は面白い～業界紙10年、
経済紙20年の取材活動～」

講師 中部経済新聞社刈谷支局

松田理恵子 様

(紹介者 野村紀代彦 会員)

(3/20) ……

休会(定款第7条第1節(d))

13:00 15. 本日のプログラム

卓話 「石田退三の生涯」

講師 一般財団法人 石田退三記念財団

理事長 石田 泰正 様

(紹介者 寺田 博正 会員)

16. 謝辞

17. 点鐘……〈会長〉

18. 閉会宣言

13:30 19. 散会

出席

会員総数 98名 出席免除 27名
出席義務者+免除者の内例会出席者 86名
欠席 4名 出席率 95.34%
前々回(2/18)の修正出席率 100%

幹事報告

1) 3月のロータリーレートは1\$136円となります。

会長あいさつ

小川 耕示



3月は「水と衛生月間」です。水道の蛇口をひねるといつでも透明で清潔な水が出てくるのは、日本では当たり前のことかもしれません。しかし、世界では、未だに21億人が簡単に安全な水を手に入らず、45億人が安全に管理されたトイレを使うことができません。安全でない飲み水と不衛生な衛生習慣は、下痢性疾患を招き、年間30万人以上の子どもが、命を落としています。また、コレラ、赤痢、A型肝炎、腸チフスといった感染症の伝染とも関連しています。SDGsにおいても6つ目のゴールに「安全な水とトイレを世界中に」と定めています。

さて本日は、当クラブの初代会長 石田退三様の曾孫さんである石田泰正様をお招きしての創立記念例会です。石田様は現在、石田退三記念財団の理事長をお務めになっています。この財団は、昭和32年に石田科学賞を創設し、次世代を担う児童生徒の、理科研究、図画工作、スポーツ及び文化に対する興味と関心を高め、日本の未来に寄与する独創性豊かな人材の育成を図ることを目的とした助成活動を行ってまいります。

石田退三様は豊田自動織機やトヨタ自動車工業の社長として名声を馳せていますが、子供達には石田科学賞を創った郷土の偉人として良く知られているのではないのでしょうか。刈谷は、企業人として成功された方が多く石田科学賞児童生徒創意工夫展に対しても多くの方が支援されています。元トヨタ自動車会長の斎藤尚一氏による斎藤記念賞、元デンソー相談役の北野多喜雄氏による北野記念賞、元アイシン精機会長 岩岡次郎氏による岩岡記念賞などが設けられています。

体験を通して技能や知識を学び、個々の特徴と未来への動機づけを得るための機会を、子どもたちに提供することを目的に活動している石田財団はロータリークラブの理念に共通する部分が大いにあります。石田退三初代会長もロータリーにおいて学ばれたことも多くあったと思います。私も石田退三大先輩と同じようにロータリーで学び世の中に奉仕していきたいと思います。

退会会員あいさつ



西脇 隆 会員



土屋 和哉 会員

お 祝 い

3月の会員の誕生日…小林祥浩、水越彌生、加藤真治、南康、内藤昇、野村紀代彦、前田春実、神谷強、角谷広高、加藤英樹、久松玲子、宮地秀将会員。

配偶者の誕生日…久米直美（博明）、加藤節子（正則）、毛受清美（豊）、二村明美（寿泰）、黒田加代子（栄一）、横山陽子（裕司）、加藤由美子（英樹）、田中弘子（大介）、土屋真由美（和哉）、山下美和（雅則）様。

結婚記念日…内藤耕造、野村重彦、中村美智雄、橋本恭典、今村順、下谷敏朗、丹羽基実、松浦修三、横山裕司、石川友美会員。

3月度入会記念日…原田光二、岡本巧、出口達也、中川耕児、佐野彰彦、都築浩介会員。

還 暦 の お 祝 い



神谷 強 会員



角谷 広高 会員

銀 婚 式 の お 祝 い



石川 友美 会員

「石田退三の生涯」

講師 一般財団法人 石田退三記念財団
理事長 石田 泰正 様



《プロフィール》

1975年 愛知県名古屋市生まれ
1997年 繊維機械・産業車両メーカーに入社
2002年 貨物航空会社を創業
2007年 公益法人に入社
2010年 自動車部品メーカーに入社

2014年 現職に就任、現在に至る。

後のトヨタの大番頭石田退三は1888年に愛知県常滑市の澤田家に生まれ、鈴溪義塾、次いで滋賀県彦根市の中学校に通いました。

卒業後、滋賀県で小学校の先生をしておりましたが、近江商人へのあこがれから、商売の道に進みました。京都の洋家具屋で修業し23歳で大阪支店長になりますが、結婚して石田家の婿養子となったのを機に退職しました。しかし次の就職先がみつからず1年近く失業し、東京の呉服屋での行商も続かずに再び失業しました。

挫折が続いた退三の転機は、服部商店（現在の興和グループ）への就職でした。上海、大阪での活躍、店主の急死、倒産の危機など、後の退三の経営観が生まれたのはこの時のことです。

38歳の時、豊田紡織に転職した退三は大阪、インドで手柄をあげて本社の幹部となります。1930年代の貿易摩擦により本業の紡織、織機事業に危機が迫る中、退三はリスクの高い自動車事業への進出に反対し左遷されたこともあります。しかし与えられた役割を誠実に努める姿勢が評価され、豊田自動織機の常務に就任し、戦時中は同社の実質的な経営者として、豊田喜一郎氏からの信頼を得ました。

終戦後、退三の動きは早く1年で豊田自動織機を再建し、次には経営危機と労働争議のために辞任した豊田喜一郎氏の後を受けてトヨタ自動車の社長に就任し、朝鮮特需もあり1年で再建を果たします。その後、急死した豊田喜一郎氏の夢をかなえるべく、クラウンの発売、元町工場の建設により量産体制を確立し、1969年に生産累計500万台を達成しました。

退三が刈谷ロータリークラブの設立に動いたのは、トヨタ自動車の社長時代、クラウンを発売する前年の1954年のことです。職業倫理を高め、社会への奉仕を唱えておりましたので、その考えからであったと思います。その活動を受け継ぎ社会のために貢献を続ける皆様に心より感謝を申し上げます。

本日は石田退三の生涯についてお話をさせて頂き、誠にありがとうございました。

